

プロジェクター（パワーポイント）を用いた発表に係る注意事項

発表者は、できるかぎり会場に設置された Windows ノートパソコンに Microsoft PowerPoint 形式 (.ppt, .pptx) で作成された発表資料ファイルをインストールし、プロジェクターを用いて発表してください。 その他のソフトを使用する方も下記の注意事項を熟読の上、発表資料をご準備願います。

1. 発表者が準備するもの

発表者は、発表資料を保存したメディア（USB フラッシュメモリー、CD-R 等）をご用意下さい。不足の事態に備えて PDF ファイルとしても保存しておくことをお勧めいたします。大容量ファイルや、Windows 以外の OS、Microsoft PowerPoint 以外のソフトウェアをご使用の場合は各自ノートパソコンをご用意ください。

2. 会場で準備するもの

会場では、パワーポイント用プロジェクター、モニター切替器、Windows ノートパソコン（Microsoft PowerPoint2007 以上インストール済み）およびレーザーポインターをそれぞれ 1 台ずつ用意します。

会場で準備するノートパソコンの OS は Windows です。（アップル等、他 OS のノートパソコンは準備しませんので必要な方は各自で用意してください。）

3. 発表会場におけるファイルコピーおよびノートパソコン事前チェックと発表形式

- ① ノートパソコン持参者は、発表の進行をスムーズにするために、前発表者が講演をはじめの前に、ノートパソコンをモニター端子に接続して下さい。
- ② フラッシュメモリー、CD-R 等のメディア持参者は、セッション開始 30 分前には発表会場に設置のノートパソコンに発表資料をコピーして下さい。セッション開始 15 分前にはコピーを完了して下さい。資料のコピーについては会場係の指示に従って下さい。
- ③ メディア持参者は、ファイル容量は 10MB 以内として下さい。大容量ファイルや動画や特殊なソフトを使用される方は、各自ノートパソコンを持参して下さい。
- ④ メディア持参者は、容易にファイルが見分けられるようにファイル名を付けて下さい。

—ご注意—

近年学会等で不特定多数の方が一台の PC に USB メモリスティックを挿入することによる USB 感染型ウイルスの感染報告例が多数あります。 USB を介した感染形態の場合、検出不可能なウイルス対策ソフトもごございますので、ご自身の PC、USB メモリスティックのウイルスチェックおよび下記のページにあるような感染防止策の徹底をお願いいたします。特に「Autorun.inf フォルダを作成し感染防止をする」という項目は感染防止策として簡便で有効な方法です。

USB 感染型ウイルスとは（サイバークリーンセンター）：<https://www.ccc.go.jp/detail/autorun/>

以上